■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（豊田地域）

資料④

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全･安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
1		●							･必要なところにバスが通っていない		●	●							
2			●						･生活バスが機能していない	●		●							
3		●							･近くにバスが通っていない		●	●							
4			●						･生活バス利用に遠慮する人が多い					●					
5			●						･生活バスを利用する際、結局遠いバス停まで歩いて移動しなければならない	●									
6				●					･コミュニティタクシーを利用する際、決められたバス停で乗降する必要がある	●									
7					●				･自動車がないと生活できる状況ではない		●	●		●					
8								●	･色々な問題を解決するのに自助･共助･公助で自分たちで解決することが最優先になっている										●
9								●	･市の予算のどこに力点を置くか、トータルとして何倍くらい必要なのか、市の構えが見えない										●
10			●						･生活バスやコミュニティバスはドアツードアが理想	●		●							
11			●						･生活バスやコミュニティバスは小型で市が保有すると良いと思う						●				
12				●					･合併前に菊川と豊北で実施されていた高齢者タクシー制度を再導入すべき			●		●					
13		●							･バス利用で一番喜ばれるのは100円バス	●				●					
14					●				･免許を返納した人に対して優遇を設けると良い			●		●					
15								●	･山間部はますます人口減少し、高齢化が進み、余計に公共交通の効率が悪くなる				●		●				
16								●	･公共交通の効率化は、高齢化の進行した中山間地域は置いていくということになるのではと懸念している		●	●	●		●				
17								●	･無駄なお金を使わずに公共交通の効率化を図れたらよいと思う						●				
18								●	･現在、各地区で高齢者いきいきサロンを開催しており、その際にボランティアで送迎をしているが、ボランティアでの送迎は、運転手のリスクが大きいため避けてあげたい		●	●							
19	●								･山陰本線の小串止まりを長門まで伸ばしてほしい。	●	●								
20		●							･必要な所に届かない路線ばかり		●								
21		●							･通院便についてＪＲの3倍料金になるため、助成し便数も増やせないか。	●	●								
22			●						･生活バスの路線に問題あり	●	●								
23			●						･小型化してドアツードアにし、デマンドを拡大した方が良い。		●	●							
24						●			･山間地では自転車は無理							●			
25		●							･バス停まで遠い	●									
26				●					･高齢者タクシー券の復活	●				●					
27		●							･豊田町からは路線バスを利用するしか方法がなく、鉄道については路線バスとのつながりを良くしてほしい。	●								

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（豊田地域）

資料④

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全・安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
28		●							・学生が利用しやすいように時間帯ごとに本数を考えてほしい。（朝、夕を多くする等）。また、鉄道との連携をよくしてほしい。	●	●	●							
29			●						・菊川では児童クラブの子供が利用しやすい時間に運行をしてほしい。		●	●							
30						●			・通学路の安全確保							●			
31						●			・休日、路肩を走る自転車が少しうっとうしく感じます。							●			
32							●		・豊田総合支所前のような道路（歩道が緑色）が広がれば、すばらしいと思います。							●			
33					●		●		・豊田町について言えば、自動車か徒歩しかないと思っています。		●	●		●		●			
34		●							・本数が少なく利用しづらい。朝の通勤通学の時間帯では利用者が多いにも関わらず、本数が少なく、ゆったりと乗車できない。	●	●								
35			●						・各町個別に運行しているのか。市全体の接続をよくすべきではないのか。	●									●
36		●							・旧市旧町を周遊できる路線としてほしい。 ・総じて路線バス停までの距離があるため、利用しずらい。	●							●		
37			●						・便数が限られており、便利なのか疑問である。利用者のニーズによるが、路線バスの乗り継ぎや増便、ダイヤの改正を検討してみては。	●									
38								●	・新下関駅方面（済生会病院）に行く便がないのは不便		●	●							
39	●								・最近は昔に比べ、一編成あたりの車両が少ないため、座席も少なくなり、高齢者や体が不自由な方は苦労する事があると思う。	●		●				●			
40							●		・通学路の歩道整備							●			
41								●	・特に田舎は交通弱者にとって、公共交通機関は必要なので、行政が補助金を投入してでも、現状を維持してほしい。		●	●			●				
42	●								・最寄り駅まで遠い	●									
43		●							・最寄り駅までの料金が高いように思う。	●									
44			●						・一般人は乗りにくいイメージがある。	●				●					
45								●	・乗車する人が少なければ、小型のバスを走らせるなど経費を削減してみてはどうか。						●				
46		●							・人口の少ない地域なので、本数が少ないのは仕方ないが、中学校が統合して、徒歩では帰れない所に住んでいる子供の為に、時間帯に応じた区間限定の運行もしてほしい。		●	●							
47						●			・今一度、大人から子供までルールを守るように指導するべきだと思う。							●			
48							●		・反射材を身につけることを徹底する。							●			
49	●								・バスとのつながりを良くしてほしい。待ち時間がながい。	●									
50		●							・通勤通学時間帯を増やす。大野経由を増やす。	●	●	●							
51							●		・通学路を安全にしてほしい							●			
52		●							・バス停まで遠くて行けない	●		●							

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（豊田地域）

資料④

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全･安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
53			●						･表通りには通るが、枝分かれした奥の家まで来て欲しい	●		●							
54	●								･あった方がいい。ですが、なかなか難しいと思うので、バスを利用しやすいようにしてほしい。	●									
55		●							･時刻を分かりやすくする。 ･少し安くする	●									
56			●						･市生活バスがあることを知らなかったから、もっと宣伝していった方がいいと思う。					●					
57							●		･通学路で歩道がせまいところが多いと思う。							●			
58	●								･駅まで遠い	●	●								
59		●							･便が少ない	●									
60		●							･バスの本数を増やした方がいいと思う	●									
61	●								･駅が近くにないです。	●	●								
62		●							･高いです。	●									
63		●							･滝部行きへの本数が少なく、2時間程度待たなければいけない	●									
64		●							･冬は暖房をもう少し効かせてほしい。	●									
65	●								･豊田まで鉄道通してください。		●								
66		●							･時間通り来て下さい。	●									
67		●							･時間よりも早く出ることがあるのでやめてほしい。時間通りに出発してほしい。	●									
68						●	●		･外灯がない							●			
69		●							･乗れる時間帯が少なすぎる	●									
70		●							･休日フリー定期を豊田でも売ってほしい	●				●					
71	●								･鉄道はあった方が良い										●
72		●							･待ち時間が長い	●									
73	●								･豊田に駅をつくってほしい		●								
74		●							･値段が高すぎ	●									
75						●			･西市バス停に自転車置き場がほしい							●			
76		●							･もう少し便数を増やしてほしい	●									
77	●								･小月～菊川～豊田に鉄道を通してほしい		●								
78						●			･自転車用の整備された道路を作ってほしい							●			
79		●							･時々、バスを使いますが、朝9時台のバスが1本しかないので、もう少し増やしてほしい。	●									

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（豊田地域）

資料④

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全･安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
80						●			･駅で放置されていたりするので、気をつけてほしいと思います。							●			
81		●							･バスの便を増やしてほしい ･バス賃が少し高い	●									
82		●							･ブルーラインの本数を増やす	●									
83			●						･バス代が少々高い	●									
84		●							･路線バスのバス代が少し高い ･便数を増やしてほしい	●									
85	●								･増やしてほしいけど、お金がかかる	●									
86		●							･増やして	●									
87	●								･豊田につくってほしい		●								
88		●							･学校の下にサンデンのバス停をつくってほしい		●								
89						●			･外灯がなく夜が暗い							●			
90	●								･豊田に電車を通してほしい		●								
91		●							･バスの本数を増やしてほしい ･豊田に帰る最終のバスの時間を長くしてほしい ･バス停に屋根がほしい	●									
92							●		･外灯を増やしてほしい ･歩道がガタガタな所がある。							●			
93	●								･本数が少ない	●									
94		●							･値段が高い ･本数が少ない	●									
95							●		･外灯がない							●			
96	●								･駅が遠いから乗ることがない。近くに駅が出来て、電車が通れば利用したいと思う	●	●								
97		●							･電車がないから利用しているが、豊田町西市から小月駅までの料金が高すぎる。もっと安くすれば利用者も増えると思う ･便が少ないから増やしてほしい	●									
98			●						･乗ったことがない					●					
99		●							･路線バスが時間通りに来ることがない。10分遅れは普通で20分遅れも時々ある。バスの時刻表を遅らせるなどの処置をするべきである。	●									
100	●								･西市駅をつくってほしい		●								
101		●							･バスの料金が高い ･定期も少し高い	●									
102	●								･まず駅が遠い	●	●								
103		●							･高いから使いたくない	●				●					
104			●						･使ったことがない	●				●					
105		●							･タバコのにおいがするときがあるので換気してほしい	●									

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（菊川地域）

資料④

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全・安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
1			●						・菊川の生活バスは、「行きは良いが、帰りが大変」	●	●								
2		●							・宇部市や博多のような100円バスの実施はどうか	●				●					
3								●	・行政が方向性を示して業者等をリードしていく必要がある										●
4			●						・ダイヤの改正、料金やルート、サンデンバスと生活バスの調整等難しく簡単にいかないことはわかっている。しかし、厳しい財政状況の中で根本的に解決することは難しいが、生活バスは絶対無くすわけにはいかない。いかに利用してもらうかにかかっているが、ここは知恵を出さないといけない。	●	●			●					
5								●	・どこを改善するのか。問題意識を話さないと議論にならない。方向性を示して業者等をリードしてほしい。										●
6								●	・議論の提起の仕方で随分流れが変わると思う。住民の利便性と業者の利益は違うものなので、テーマを絞って議論してもらうなど工夫しないと難しい。										●
7	●								・現状どおりで良い										●
8	●								・関門間（私の地域からすれば小月～小倉程度）の便数については使い易く増便が望ましい（車両は少ないいい1両でも可）	●									
9	●								・バス利用する場合も多いので、連結を考えてスムーズに利用できるように互いに運営する会社が連携を図る必要があると思います。	●					●				●
10	●								・鉄道は小月駅を利用します。高齢者や障害者に優しい設備になって利用しやすい			●				●			
11	●								・現状維持										●
12		●							・小月駅発について鉄道との連携ができているか	●									
13		●							・電車到着と同時に連携バスが発車しているのを見たことがある（夜です）	●									
14		●							・1時間に2本程度あれば良いのでは。	●									
15		●							・サンデンバスは便数が少なく、利用料も高く、使える状況にない。	●									
16		●							・以前、路線経路図、時刻表が配布されましたが、経路がよくわからない	●									
17		●							・70歳からの100円バスは外出の機会が増えてとても良い制度。もう少し期間を長くしてもらったらよいと思う。	●				●					
18		●							・孤立した俗に言う限界集落にも成りかねない地区の交通機関が無い。つまり買物難民とまで言われる人達への対策が出来ないと将来どうなるのか心配。		●		●						

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（菊川地域）

資料④

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全・安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
19		●							・便が少ない	●									
20		●							・時間内に間隔があき、本数が少ない（採算がとれないと思うが）のでますます利用しにくい状況で悪循環の状況である。	●					●				
21		●							・バスもノンステップが普及してはいるが、昇降しにくいという声を聞く。もっと使いやすい方向に向けての取組みが進められないかと思う。			●				●			
22		●							・路線バスがなくなり、生活バスに変更になった。経費のことを考えると仕方がないか。						●				
23		●							・夜、少々おそくＪＲ小月駅から菊川への路線が無い。せめて１０時位までとは思う。	●	●								
24		●							・高齢者パスがあるのに通学生にも同様のサービスがあれば朝、夕の駅のラッシュは減るのでは。	●				●					
25		●							・路線バスはお年寄りの方にはぜひ走らせて下さいませ。		●	●							
26		●							・足がない人が多いので必要です。		●	●							
27		●							・朝夕３０程度の運行が必要と思います。	●									
28		●							・現状、利用できる状況でない		●								
29		●			●				・本数が少ない（自動車の運転の出来なければ日常生活を送るうえで不便）	●	●	●							
30			●						・運営上、経費がかかるためでしょうか料金は一律100円又は200円なり均一（一律）にした方がわかりやすく利用しやすいのでは。	●				●					
31			●		●				・高齢者が免許返納した時に車に乗れない移動不安が増大するのでもっときめ細かに運行回数を増やすなど配慮が必要となると思う。	●		●		●					
32			●						・現状で良いのでは。										●
33			●						・収支的には全く合うものでは無いが、無いと困る人もおられるので必要ではあろうと思います。						●				
34			●						・今後、必要になりますが、乗車率が少ない便があり、予約制にすれば予算も縮小できるのではないか。					●	●				
35			●		●				・今はまだどうにか運転出来る人達も５～１０年も過ぎると運転出来なくなると思う。 ※せめて通院だけでも配慮してほしい。		●	●							
36			●						・停留所を増やしてほしい	●									
37			●						・本当に市民の足（特に車を運転できない高齢者・障害者）となる役割を担っている。さらに利用者の声を整理し、本来の役割を果たし、保障できるものになってほしい。		●	●							

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（菊川地域）

資料④

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全・安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
38			●						・便数が少ないので利用が難しい	●									
39			●						・生活バスと路線バスとの連携をのぞむ	●									
40			●						・全線１００円～２００円位がいいと思う。予算は別途考える必要ありと思います。	●				●					
41			●						・大変でしょうが高齢者の足になって下さい。		●	●							
42			●						・生活バスが予約をすれば片道５００円で岡枝まで出かけることが出来ます。（当初は１００円）吉田、小月方面の生活バスがあればと思います。		●								
43			●						・利用するにもバス停までが遠く、歩行が難しくなると…	●	●	●							
44			●						・本数が少なく外出する時は１日がかりとなる。	●		●							
45			●						・日曜、祭日運休で不便	●	●								
46						●			・歩道を通るとき後ろから急に追い越されると歩行者はびっくりするので、ベルの活用を徹底してほしい。							●			
47						●			・歩道を通っていいか知りたい。							●			
48						●			・今のところ菊川町では、小中学校で長府警察署の交通課の人が年数回、民生委員の人も含み講習会を開いているのであまり問題はないようです。							●			
49						●			・自転車道の整備							●			
50							●		・雑草が生えている定期的な草刈り							●			
51						●			・狭い歩道を走る自転車が多い							●			
52						●			・坂道が多いので、電動アシスト車が安価で購入できれば良い							●			
53						●			・自転車のマナーがまだ悪いけど、電動カーの方がマナーが悪いのでは。							●			
54						●			・老人でも安心して乗れる様な専用道路がほしい							●			
55						●			・自転車専用道路が必要と思います。							●			
56						●	●		・歩道分離が望ましい							●			

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（菊川地域）

資料④

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全・安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
57						●			・自転車専用道があると良い							●			
58						●			・歩道を自転車で運行する（運行可以外の歩道）ことがあり、各学校単位での勉強会の開催があれば。 ・並行走行も見られる							●			
59							●		・高齢者のマナーは教育できなくて困っています。特にこれから増えると予想されている認知症には何か良い方法を模索中							●			
60							●		・昨今の交通事故を考えると鉄柵付きの歩道完備が急がれる							●			
61							●		・安全に歩ける歩道の整備を							●			
62							●		・歩道も広くなって良い							●			
63							●		・車の運転手に発見しやすい服装で徒歩する事が大切である。							●			
64								●	・公共交通は大事ですが、不便さとモータリゼーションの発達とで、どうしても高齢者を含めて車社会となります。安全な車作り、モラルのある運転を推進する事で今後対応していくしかないと思われます。	●	●	●		●					
65				●					・車を運転されない方に対しては格安のタクシー制度等を考えていけばいいのではないでしょうか。	●				●					
66					●				・どうしても私有車両を利用することになるが、時刻が充実すれば利用者も増えてくるのではないかと思います。	●				●					
67					●				・私の理想は、運転が無理な年齢に達したと思ったら免許証を返納し、その人が困らないほどの交通手段を与えて利用してもらう。以上のことが常識となり習慣と慣れば良いと願っています。		●	●							
68			●						・今後、きめ細かい福祉バスが必要になると思います		●	●							
69								●	・高齢者の訪問を実施してみて、買い物・通院の交通手段の確保が必要だということを痛感しています。高齢者の交通事故の報道も多い昨今、取組みは必修の課題だと思います。		●	●							
70								●	・先進地の事例等も参考に地域にあった公共交通のあり方を考えてほしい		●								●
71					●				・最近の高齢者による交通事故防止の為、免許返納が進められているが、その代わりの足がなくなる。その代用のとなる交通システムを考えてほしい。農村地、山間地区の者に為に		●	●							
72			●						・市生活バスは運用をお願いします。（現状どおり）		●	●							
73					●				・高齢者の免許返納等を言われているが、それにかわる移動手段が少ない。		●	●							
74			●						・生活バスについても乗車率が悪いこともあり、便の減少となっており、外出する事もままならない。	●	●	●			●				

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（菊川地域）

資料④

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全・安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
75			●						・乗車客が少なくなって来ています。 ・便数はもう少し欲しいですが、現状から見るとどうですか。	●									
76			●						・便を増やしてほしい	●									
77							●		・岡枝の旧道は歩行者にはあぶない道路と感じます。							●			
78						●			・自転車も罰金をとるといい							●			
79		●							・時間に片寄りがある。JR時刻改正があると乗り換えがスムーズにいかなくなることがある。	●									
80	●								・利用するとしてもJR小月駅になり、そこに行くまでにバスやタクシーで結構時間がかかる。	●									
81			●						・中心地で利用するためには便利だが、離れたところまでいくのに利用しようと思わなかった。	●	●								
82						●			・菊川は盆地なので、少し離れたところに行くには一番便利かもしれない							●			
83							●		・中心地に住んでいる人は徒歩でも問題なく生活できる							●			
84			●	●					・生活バスを無くして、タクシー利用者に割引になるような補助をしてはどうか。	●	●			●	●				
85	●								・豊北高校とひびき高校が統合すると聞きました。下関駅～小串駅止めを滝部駅止めにしてほしい。		●	●							
86							●		・信号機及び横断歩道の無い場所で道路を横切る。特に高齢者が多い。夜間は特に危険です。			●				●			

資料④

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（豊浦地域）

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全・安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
1					●				・高齢者は車がないと生活できなく、免許の返納がなかなか難しい		●	●							
2					●				・高齢者の事故が多い			●		●		●			
3								●	・65～85歳の方に地域を支えてもらえる仕組みを行政が提案する必要がある			●							●
4								●	・新下関方面に行く交通手段を考えて欲しい		●								
5								●	・豊浦方面から長府方面に行く交通手段がない		●								
6	●								・豊浦から長府へ行く交通手段として鉄道はあるが、乗換えが必要であり、待ち時間に1時間程度掛かる	●	●							
7	●								・山陽への移動は非常に不便	●	●								
8		●							・買い物、通院等のため、バスはなくてはならないものである		●							●	
9		●							・ブルーライン交通のバスを小型化し、路線を変えることも必要						●				
10		●							・循環バスとして、室津～黒井～湧田～川棚に行く路線など考えてよいと思う		●				●				
11				●					・防府市の高齢者割引制度を参考にしてほしい（山口新聞掲載）	●				●					
12								●	・社会状況の中に、買い物・医療ができる箇所がないという視点が必要		●								●
13								●	・買い物に行ける足を確保して欲しい		●								
14		●							・今の路線バスのダイヤやルートでは移動しにくい	●									
15		●							・路線バスの効率が悪い						●				
16		●							・路線バスの乗車率を向上させる対策をすべき	●									
17		●							・小型バスは効率的である						●				
18		●							・湯玉駅から奥に入っていく「いまみの」地区にはバスがないため買い物に苦労している		●								
19	●								・小串駅、湯玉駅はバリアフリー化してほしい			●				●			
20		●							・各地区に店がないのは非常に問題で、買い物に行ける移動手段として路線バスがあれば、バスの利用者も少しは増えるかもしれない		●			●					
21	●								・JRは小串停まりが多いため、それ以降も本数を増やして欲しい		●								
22	●								・増便すれば利用が見込める	●									
23	●								・駅までのアクセスが難しいので乗らない。いかに駅までのアクセスを良くするか課題	●									
24	●								・小串で止めないで全て滝部までにしてほしい		●								

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（豊浦地域）

資料④

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全・安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
25	●								・終電が早い（山陰本線）	●									
26	●								・ホームのバリアフリー化、乗る人が増える工夫と乗りやすい方法を一体で（JRと地域住民との一体的に話し合いが出来ると良い）			●				●			
27	●								・小串以北については生活圏と異なってまった。		●	●							
28	●								・山陰本線の便数が少ない（小串から滝部）	●	●								
29		●							・100円巡回バス	●				●					
30		●							・バス停まで行くのが大変な人が多い	●									
31		●							・マイクロバスで良いのでもっと頻繁に年寄りが利用できるように（いまみのを通るバスがない		●	●							
32		●							・便が少ない	●									
33		●							・バスの本数が少ないが赤字と言うことは望めないか	●					●				
34		●							・カーブの多い県道を日に2回運行していただいていますが、利用者が少なく申し訳ない気持ちです。	●				●					
35		●							・川棚で乗換えがいる（黒井⇔小串）	●									
36		●							・川棚地区から新下関方面　長府小月方面への公共交通が不便である	●									
37	●	●							・列車との接続が悪い	●									
38		●							・時間通りにバスが来ないことがある。	●									
39			●						・旧豊浦郡内を巡回できる体系構築	●				●	●				
40			●						・利用者の高齢化による乗降時の介助などのサービスが必要になってくると考えます。			●				●			
41			●						・豊浦町も市生活バスを考えてほしい		●	●							
42			●						・駅を拠点とした考え方も必要かと思う。	●									
43						●			・不法駐輪自転車を集めて無料のレンタサイクルとして活用										●
44						●			・自転車専用レーンの設置							●			
45						●			・主要路線の自転車走行レーンの整備促進と路側帯の十分な確保							●			
46						●			・国道・県道は走れない							●			
47						●			・室津・黒井間の自転車の通行はキケンである（道が狭い）							●			
48							●		・乗合タクシーで徒歩の方を利用者として公共交通へ増加させる		●	●		●					

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（豊浦地域）

資料④

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全・安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
49							●		・全般的に道路幅を広くして下さい							●			
50							●		・夜間街灯の整備が不可欠							●			
51							●		・歩道のない箇所が多い。歩道整備							●			
52				●					・無人タクシーの取組み、実車実験など						●				
53				●					・70%が町内移動であるならデマンドタクシーを考えることが必要。		●	●			●				
54								●	・医療・福祉・商業施設へのアクセスを中心に交通体系の整備が必要と考えます。		●								
55								●	・豊洋台ではＮＰＯが別添チラシの豊浦福祉号を運行しています。無料です。行政以外の団体へのアプローチも必要ではないでしょうか。		●	●							●
56			●	●					・自家用車に１人乗りはもったいない気がする生活バス、コミュニティタクシー等の活用						●				
57		●							・川棚地区から内日廻り新下関駅行きのバス等不定期便、定期便の運用		●								
58	●								・使用車両の乗りごこちが悪い							●			
59	●								・他路線との接続が悪い（山陰本線⇒鹿児島本線）	●									
60	●								・列車遅延時の情報量がＪＲ九州より少ない。（ＪＲ九州はアプリで列車位置がわかる）	●									
61	●								・通勤・通学利用とコミュニティ利用は分けて検討するべきと思う。		●	●							
62								●	・豊洋地区、室津地区に病院を巡回するＮＰＯが立ちあがっている。		●	●							
63								●	・行政が音頭をとって、まちづくり協議会、自治会、ＮＰＯで協議して豊洋・室津の取組みを町全体に広げる取組みをお願いします。		●								●
64				●					・タクシー等の割引制度の企画 ・他市が運用している現状を参考に（防府市）	●				●					
65		●							・無料バスで実証実験スクールバスと兼用できるバスダイヤ		●				●				
66		●							・他市の様に交通系カードでの支払が出来ると楽	●				●	●				
67		●							・列車不通の時に代行輸送があまりない	●					●				
68		●							・町内での交通網を検討してほしい		●	●							
69						●			・自転車は公共交通機関を降りて使えない	●									
70								●	・公共交通の利便性が良くないことが利用率の低減につながっていることから、更に減便するという負のスパイラルになっている。	●				●					
71		●							・黒字路線の利益配分をもっと行ってほしい。黒字路線ばかりが改善されているように見えます。公共交通を公共のみで説明するのは難しい。						●				●

資料④

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（豊北地域）

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全・安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
1	●			●					・JRとコミュニティタクシーの利用が大変難しい	●									
2	●								・粟野駅では、上下線どちらを利用する際も陸橋(跨線橋)を使わなければならない。悪天候の際は、改札口からホームまで行くのに(陸橋を渡るのに)3～5分掛かる。昔のようにフラットな形にしてもらいたい。			●				●			
3	●								・JRは昼の便数が少ない。	●									
4	●								・JRは小串までは良いがそれから先がない。		●								
5				●					・あらかじめ切符を購入しておかないといけないのが支障になっている。	●									
6				●					・停まる場所が決まっていることも支障になっている。	●		●							
7				●					・夜間の営業もない。夜に何か起これば交通手段がない。	●		●							
8					●				・今後、車の免許を返納することを考えると不安になる。	●	●	●							
9		●							・バスの便数が少ない。行きは良いが帰りに困るという意見をよく耳にする。行きはバスを利用するが帰りは歩いたり迎えを呼んだりする方が多い。	●	●								
10			●						・生活バスは、滝部駅から二見の方を回って矢玉を通っていくが、和久の辺りから滝部に行くのにブルーライン交通で二見駅に出て、二見駅から滝部駅に行かなければならない。乗り継ぎの接続が悪かったりすると大袈裟に言うと滝部への買い物が一日掛かりになってしまう。	●	●	●							
11			●						・生活バスについて、土日祝日が休みであることが不便だと問合わせを受ける。土日に開催される学校等のイベントに参加出来ない。盆正月には買い物にも出掛けられない状況である。平日を減らしてでも土日に増やせないか	●	●	●							
12	●								・JRについては小串から先の便数が少ない		●	●							
13	●								・先般、豊北高校と響高校を統合した後は豊北高校の場所に新しい高校を設置する方針を県教委が発表しているが、響高校の場合は電車があり市内からのアクセスも良好だが豊北高校の場合は便数が少なく不便である。今は臨時的に通学便を運行してもらっているが、豊北高校の場所で存続していくということになると交通手段としてJRは不可欠である。		●	●							
14								●	・現在、市もお金を投じて豊浦病院の建替えを行っていると思う。豊北町の人は何かあれば豊浦病院に行くので、病院を新しくすることは大変有り難いが、豊北町からそこまでの交通手段がない。		●	●							
15								●	・病院に行くことが交通弱者にとっては一日仕事になってしまう。		●	●							
16	●								・70代、80代になると高架を渡るのは大変だと思う。			●				●			
17	●								・高架をやめてフラットにすると危険があると言うが、第三セクターやローカル鉄道をテレビで見掛けると平面で渡っている事例がある。平面で渡ることは、出来ないことではないと思う。方法はあると思うので是非考えていただきたい。			●				●			
18	●								・JRは出来るサービスはやってもらわないと益々お客さんが減って最後は利用できない状況になってしまう。	●				●					

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（豊北地域）

資料④

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全・安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
19					●				・現実的には、まだマイカーを利用している方が多いが、これから先に免許を返納することになると思う。返したいけれども、返すと生活出来ない。		●	●		●					
20	●								・最終便が下関駅発、午後8時10分となっており、非常に残念に思う。それ以降の時間は滝部まで来ないので、小串駅で降りてタクシーで滝部まで帰ると4,500円くらい掛かる。そうなると結局、帰らずに泊まることになる。	●		●							
21	●								・今の運行本数では通勤利用は無理だと思う。		●	●							
22	●								・高架橋も老朽化していると思うので思い切って変えてみることも考えて良いと思う。			●				●			
23	●								・小串から先の増便や陸橋などについて、強く要望していただきたい			●				●			
24	●								・粟野駅の上り下り陸橋使用は高齢者は特に悪天候時は大変。			●				●			
25	●								・小串乗り換えは時間差、待時間が大変	●									
26	●								・小串－滝部間の遅延運行を乞う	●									
27	●								・便数、利用者ともに少ない。特に下関地域鉄道部と長門鉄道部の調整が悪いのではないか。	●				●					
28	●	●							・滝部駅まで伸ばしてほしい。あまりにも便数が少なく利用しづらい。	●	●								
29	●								・滝部駅まで伸ばしてほしい		●								
30	●								・小串止まりを長門市または滝部まで延長してほしい。出来なければバスで継続運行したら良いのでは。	●	●				●				
31	●								・昼間の列車が無い		●	●							
32		●							・角島路線は空便が多く他の路線に比べ多過ぎるのではないか						●				
33		●							・回数増便	●									
34		●							・バスを小型化し、便数を増やしてほしい。	●					●				
35		●							・回数を増やしてほしい	●									
36		●							・豊田、豊浦の病院の便を増やして、新下関駅と角島の直通便などを新設してほしい。	●	●				●				
37			●						・全区域に小型化が良い。						●				
38			●						・ルートの再検討が必要と思うし、ますます必要になる						●				

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（豊北地域）

資料④

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全・安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
39			●						・バス停まで歩いて行けない人が増えているのでは	●	●	●							
40			●						・小型化してドアツードア（デマンド）が望ましい（買い物・病院）		●	●			●				
41			●						・土曜、日曜、祝日、何かイベントがあっても動けない		●	●							
42						●			・自転車道の整備 （現在、自転車の走る所がはっきりしない）							●			
43						●			・自転車専用道路が必要							●			
44						●			・山陰本線に自転車が乗せられると良いが（観光振興対策　ＪＲの利用者を増やす）	●				●			●		
45							●		・歩道がない所がある							●			
46							●		・高齢者のため歩道を良くしてほしい			●				●			
47				●					・夕方から朝までタクシーすら皆無。		●								
48	●								・下関‐滝部間の最終便 下関発22時。23時10分程度の便は豊北町には必要である。	●									
49				●					・赤字路線を廃止し、ボランティアタクシーで家から目的地までの往復をする制度しか残らないと思う。		●	●			●				
50								●	・スクールバスの空き時間活用を検討してほしい						●				
51	●								・昼間の運行本数の減少により不便	●									
52	●								・プラットホームのバリアフリー、跨線橋を渡る高齢者は利用困難			●				●			
53	●								・ＪＲ駅からの二次交通を考えてほしい	●	●								
54	●								・ＪＲとの連携	●									
55			●						・田耕地区デマンド方式は考えられないか。		●	●							
56				●					・滝部へ電話で来てもらわないと車の免許のない人は動けない。		●	●							
57	●								・各ＪＲ駅の陸橋利用の廃止			●				●			
58	●								・階段も少しでも少なくする（公共交通利用者には高齢者が多い）			●				●			
59				●					・高齢者の免許返上支援で高齢者タクシー制度を開始した方が良いと思う。（初乗運賃無料化など）	●				●					

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（豊北地域）

資料④

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全･安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
60	●								･下関駅発の上り終便20時は早すぎる	●									
61		●							･増便要望をされる方は積極的に利用する。ご近所にもお誘いして利用させて欲しい。	●				●					
62					●				･免許返納者に割引券を配布する。	●				●					
63	●								･高校の通学時間に合せたダイヤ改定を希望。		●	●							
64	●								･済生会病院からの帰り11時5分、次は14時32分で不便	●	●								
65		●							･道の駅の近くにバス停がない	●	●								
66	●								･駅から観光地への便数が少なく、ゆっくり過ごせない	●							●		
67			●						･生活バスをデマンド型に変更する。						●				
68				●					･粟野コミタクは人口の少ない粟野地区だけでは限界がある。			●	●	●					
69								●	･公共交通をまちづくりと連動させ、魅力のあるまちにする。										●
70								●	･人口減少、高齢化が進むなか、公共交通の存在は次代の最優先課題である。			●	●						●
71								●	･効率化だけでは中山間地域はますます廃れる。		●		●		●				●

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（本庁地域）

資料④

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全・安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
1			●						・菊川の生活バスを清末地区内に延長してほしい。過去、サンデン交通のバスが阿内に通っていたが、かなり前に廃止された。阿内と菊川方面は道路も整備されたので、生活バスの導入を考えてほしい。阿内～清末～小月などを通るバスがあると住民は助かると思う。		●	●							
2		●	●						・実家が菊川地区であり、小月からサンデン交通で菊川に到着してからは生活バスに乗換えるということで利便性が悪いと感じている。小月駅から直接、菊川町内に行くことを考えてほしい。	●									
3		●							・市の負担でバスの支出が多く驚いているが、事業として赤字のものを具体的にどう効率化を図ろうとしているのか。廃止や減便を考えているのか。						●				
4								●	・今のままでは人口減少は止められない。行政と住民が本気になって考えないとダメであり、そのためには公共交通機関をもう少し整備しないといけない。				●						●
5			●						・下関市の新しい町には鉄道駅はない。新駅については今の状況ではなかなか難しいと思うが、せめて地区内にシャトルバスやコミュニティバスを導入してほしい。地区内は大型店舗などもあり、便利が良いが、郊外に行くには公共交通機関は使いにくい。		●	●							
6		●							・サンデン交通の高齢者パスは他都市に比べると高い。	●				●					
7		●	●						・敬老パスは1.5ヶ月しかなく、通年に伸ばしてほしい。これをやると莫大な予算がかかるため、その予算でコミュニティバスを導入してほしい。サンデンが通っていないところを走らせるとよい。	●				●	●				
8								●	・軌道を上手く活用してバスなどのネットワークを考慮してほしい。地球温暖化防止のため、モーダルシフトは必要なので、そういった点を考慮してほしい。						●			●	
9								●	・特に鉄道は朝夕のラッシュ時は現状でも構わないが、今の昼間の便数ではＪＲを利用しない要因になっていると思う。鉄道の時間に合せたバスのダイヤや自転車の活用など総合的なことを考慮して将来交通計画を策定してほしい。	●					●				●
10					●			●	・勝山でも山の上の方に住んでいる方がおり、そのような人たちが車を利用できなくなった時のことも考えて将来交通計画を策定してほしい。		●	●							
11	●								・山陽線の住居地近くに駅の新設。		●	●							
12	●								・安岡駅の列車とホームの段差解消。			●				●			
13	●								・新しい町が出来ても駅が遠く、不便である。		●	●							
14	●								・王司、川中豊町新駅設置など恒久的かつ永続的な市民の足になるように、市民の予算を使っていただきたいと思う。		●	●			●				
15	●								・全体的に車両が古く、ＪＲ九州管内を走る車両と比較すると運行スピードが遅く感じる。	●									
16	●								・高校生の利用が多いように思われるが、学校近くの駅である幡生駅や安岡駅のトイレが古く利用しずらいように感じられる。			●				●			
17	●								・山陰側の駅のバリアフリー化が遅れている。			●				●			
18	●								・九州との直通便がほしい	●							●		
19		●							・現在のバス路線は下関駅を中心として放射状に走っており、川中地区と長府地区間のバスが不便。	●	●				●				
20			●						・地域内にコミュニティバスやシャトルバスが必要。		●	●							

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（本庁地域）

資料④

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全・安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
21		●							・多額の税金が使用されていることにビックリした。乗っても高いという印象であるので、少し本数を減らしてでも乗って良かった、また利用したいと思えるワンコインバスの導入を。	●				●					
22		●							・山陽側では印内交差点等の交通渋滞により、定時にバスが来ないことが慢性化している。	●									
23		●							・長府に集中している交通の流れの分散化、特に印内交差点を勝山方面に右折する北九州方面の流れを唐戸・彦島方面に流すことも検討する必要があるに感じました。	●					●				
24		●							・高くて乗る気がしない	●									
25		●							・バス停のスペースが特に狭い所があり、改善していただきたい。	●						●			
26		●							・路線バスの小型化、路線時間帯を考慮して運行する。	●					●				
27		●							・高齢者を無料とする。65歳以上を無料とすると自家用車減となり、高齢者運転事故減となる。財源確保を図る必要。	●		●		●					
28		●							・100円バスの期間を長くしてほしい。	●				●					
29		●							・バス代が高い。	●									
30						●			・省エネ・エコの観点から自転車の利用は多いに推進すべきである（健康増進にもつながる）その場合、駐輪場所の確保、事故保険の義務化等が必要である。			●				●		●	
31						●			・自転車専用道路の確保による、近い距離の移動の安全性と利便性向上を図るため、力を注いでいただければと思う。			●				●			
32						●	●		・福江－吉見間の海岸線の道路幅が狭く、自転車、人、自動車が並ぶと通行に危険を感じる。							●			
33						●	●		・道路幅が狭く、危険を感じている。							●			
34						●			・自転車道の整備を進める。							●			
35						●			・車道の自転車は危険。							●			
36						●			・自転車は左通行、歩行者のように線を引いて色分けしてはどうでしょうか。							●			
37								●	・高齢者が車なしで生活する町ではないと思われる。		●	●							
38								●	・高齢者の健康維持の観点からも15分程度の徒歩移動を積極的に推進する施策を考える必要がある。（なお、夜間の防犯対策は重要である。）			●				●			
39						●	●		・歩車分離による安全性の確保。とりわけ川中地区においては黄色で塗られた道路もあるが離合する際はギリギリに車が通るため、危険（特に綾羅木駅⇔ゆめシティ）であるので、一方通行などの施策を行っていただければと思う。			●				●			
40							●		・歩道が狭く、無い所もあるので危険			●				●			
41								●	・運転免許返上後の公共交通の受皿がない。高齢者の生活が不便である。		●	●							
42		●							・9月の福祉パスが1．5ヶ月しかなく、高齢者にやさしいとはいえない。全国の他都市の例を参考にして早急な改善が必要。	●				●					
43		●							・サンデン交通の企業努力に期待したい。	●									

■地元説明会における意見を踏まえた交通課題の整理（本庁地域）

資料④

	交通手段								意見	交通課題									計画検討の進め方
	鉄道	路線バス	生活バス	タクシー	自動車	自転車	徒歩	その他		公共交通の利便性向上	生活交通の確保	移動制約者への対応	人口減少等による地域の衰	公共交通の利用促進	公共交通の効率化	安全・安心な移動環境の確保	観光振興の推進	環境負荷の低減	
44								●	・総合的な公共交通計画の策定に向けて、鉄道・バス・道路・自転車（駐輪場含む）のネットワークを築いていただきたいと思う。										●
45		●							・福岡市の天神のように、鉄道、バスなどの公共交通と市役所、10代、20代など年代ごとの商店が整備され、街が活性化するといいなと思いました。	●									●
46		●							・交通機関での非接触型ICカード利用などデジタル技術を取り入れることも検討すればよいかもしれません。	●				●					
47				●					・公共交通機関が無い団地等にデマンドタクシーなど代替機関を設置すべき。		●	●							
48							●		・県道40号線未整備区間1.3kmに危険箇所がひそんでいる。整備完了まで夏季の雑草が見通しの悪いカーブ地点におおいがぶさり、通学路でもあるのでタイムリーな雑草を刈っていただき、危険を少しでも除去していただきたい。							●			
49						●	●		・白線が薄くなっている箇所が多いので引き直して欲しい。							●			